

表 色素の特性

色素名	検出	$\lambda_{ex}$ (nm)	$\lambda_{em}$ (nm)	備考
Fluo 3	蛍光	508	527	Caと錯体を形成し、蛍光を発する。
Fluo 4	//	495	518	Caと錯体を形成し、蛍光を発する。
Fura 2	//	340/380	510	CaFreeとCa錯体で異なる励起波長を持つ。
Indo 1	//	330	485(Ca Free) 410(Ca 錯体)	CaFreeとCa錯体で異なる蛍光を発する。
Quin 2	//	339	492	Caと錯体を形成し、蛍光を発する。
Rhod 2	//	553	576	Caと錯体を形成し、蛍光を発する。
Coelenterazine-WS	発光			エクオリンとCaの存在下発光する。
BCECF	蛍光	490	526	細胞内pH依存して蛍光強度が変化する。
MQAE	//	355	460	塩素イオン濃度に比例して蛍光が消光する。
Dansylaminoethyl-cyclen	//	323	528	亜鉛錯体を形成すると蛍光強度が強くなる。
Zinquin ethyl ester	//	368	490	亜鉛錯体を形成すると蛍光強度が強くなる。
BAPTA	—			細胞内カルシウムをマスクングする。
Caged ATP	ATP			347 nmの光でATPを放出する。
DiBAC <sub>4</sub> (3)	蛍光	490	520	膜の電位差により蛍光強度が変化する。
GEDTA(EGTA)	—			細胞外のカルシウムをマスクングする。
Ins(1,4,5)P <sub>3</sub> (synthetic)	—			細胞内の遊離Caの放出を促進する。
TPEN	—			細胞内の重金属をマスクングする。